

# 札幌市国際戦略プラン(案)

みなさまのご意見を募集します！

## 概要版

募集期間 平成 25 年 12 月 20 日(金)から平成 26 年 1 月 20 日(月)まで

人口減少社会の到来やグローバル化のさらなる進展に伴い、世界の相互依存が強まり、観光や留学、投資先として選ばれるための都市間競争が激しさを増している一方で、海外からの観光客や外国籍市民が増加しています。

札幌市においても、これまでに経験したことのない社会経済状況の中、横断的な連携を深め、戦略的かつ効果的な国際施策を実現し、札幌の国際化を海外からの活力の取り込みと地域活性化につなげていくための総合的な計画を策定する必要があります。

そこで、以上の背景を踏まえ、国際化施策の基本的な指針である「札幌市国際化推進プラン」(平成 14 年度～23 年度)を抜本的に改訂し、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の部門別計画として位置付けられる「札幌市国際戦略プラン」を策定することといたしました。

このたび、プラン案がまとまりましたので、皆さまからのご意見を募集します。

## 目次

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 意見募集要項              | P1  |
| 札幌市国際戦略プラン(案)概要版    |     |
| 第1章 国際戦略プラン策定にあたって  | P2  |
| 第2章 札幌市をとりまく社会・国際情勢 | P3  |
| 第3章 札幌が目指す国際都市像     | P5  |
| 第4章 基本方針            | P7  |
| 第5章 戦略展開の基本的考え方     | P10 |
| 第6章 推進にあたって         | P11 |
| 第7章 実施計画(1期)        | P12 |
| ご意見記入用紙             | P15 |

この冊子に掲載されている内容は「札幌市国際戦略プラン(案)」の概要版です。

本書・資料編の配布場所は P1 でご案内しています。

札幌市総務局

市政等資料番号  
01-B02-13-1673

## 意見募集要項

現在、検討を進めている「札幌市国際戦略プラン(案)」について、ご意見を募集します。

皆さまからお寄せいただいたご意見は、プランの策定及び今後の推進にあたって、参考にさせていただきます。いただいたご意見への個別回答はいたしません。寄せられたご意見の概要やご意見に対する札幌市の考え方につきましては、ホームページなどで公表いたします。

### 1 意見募集期間

平成 25 年(2013 年)12 月 20 日(金)～平成 26 年(2014 年)1 月 20 日(月)【必着】

### 2 意見の提出方法

#### ① 郵送の場合

本書の最終ページの「ご意見記入用紙」を切り取り、ご意見を記載の上、のり付けしてポストに投函してください。

#### ② FAX の場合

011-218-5168 へ送信してください。

#### ③ 電子メールの場合

[kokusai@city.sapporo.jp](mailto:kokusai@city.sapporo.jp)宛に送信してください。

#### ④ ホームページ上のご意見募集フォームから送信する場合

下記 URL にアクセスし、意見募集のページから送信フォームに必要事項を記入後、送信してください。

URL: <http://www.city.sapporo.jp/kokusai/strategy.html>

#### ⑤ 直接お持ちいただく場合

下記お問い合わせ先へ直接お持ちください。

※電話によるご意見の受付には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

※ご意見は札幌市に居住する市民、事業者の方をはじめ、本プラン案によって生活や事業等に影響がある方など、どなたでも提出することができます。

※ご意見の提出にあたっては、お名前・ご住所等を必ずご記入ください。(公表はいたしません)

### 3 意見の提出先・お問い合わせ先

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所9階 南側

札幌市総務局国際部交流課

電話:011-211-2032 FAX:011-218-5168 E-mail:[kokusai@city.sapporo.jp](mailto:kokusai@city.sapporo.jp)

#### 資料の配布場所

(概要版/本書・資料編)

- ・札幌市役所本庁舎(中央区北1条西2丁目)  
2階 行政情報課、9階 交流課
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・札幌国際プラザ(中央区北1条西3丁目)

(概要版のみ)

- ・各まちづくりセンター
- ・札幌エルプラザ(北区北8条西3丁目)
- ・ちえりあ(西区宮の沢1条1丁目)
- ・国際交流館(白石区本通16丁目南4-26)
- ・留学生交流センター(豊平区豊平6条6丁目)

※ホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/kokusai/strategy.html>)でも概要版/本書・資料編がご覧になれます。

# 第1章 国際戦略プラン策定にあたって

## 1 策定の趣旨

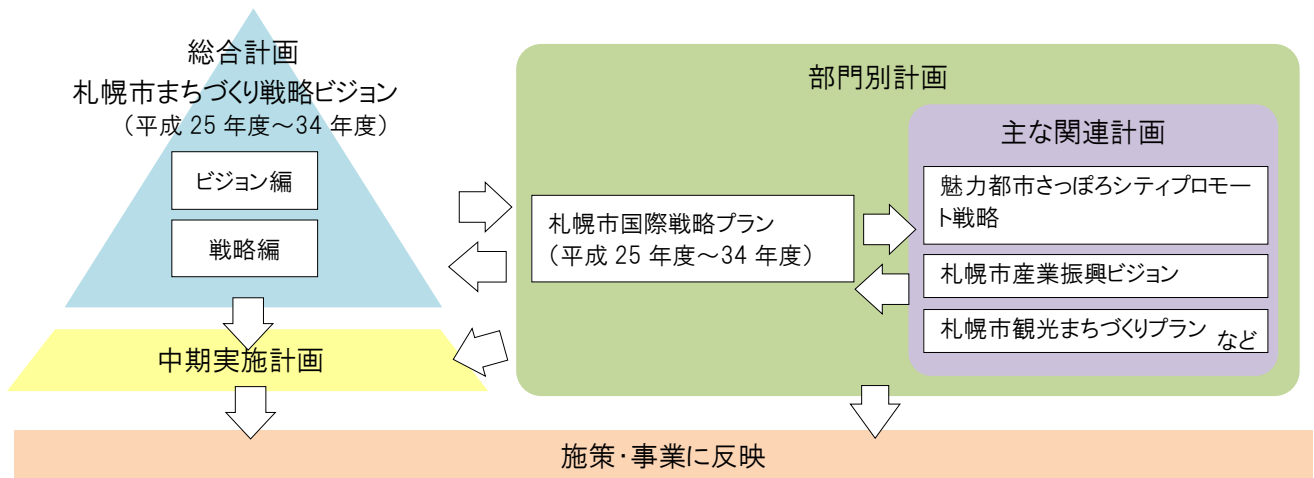
人口減少社会<sup>1</sup>の到来や、グローバル化のさらなる進展に伴い、観光や留学、投資先として選ばれるための都市間競争は激しさを増し、国内のみならず、海外の諸都市との間で優位性を競う現状があります。また、札幌は、北海道の中心都市として、北海道の国際化を牽引するとともに、国際平和や環境・エネルギーなど地球規模の課題に積極的に取り組み、世界の都市の一員としての責任と役割を果たしていくことが使命でもあります。

札幌を取り巻く社会環境や、これまでに取り組んできた様々な国際的事業の蓄積を踏まえ、「創造都市さっぽろ」の実現を通して、海外からの活力の取り込みや地域活性化を目指していくため、国際都市像として「創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ」を掲げ、今後の新たな10年に向かう国際戦略プランを策定します。

## 2 位置付け・期間

### ■プランの位置付け

本プランは、長期総合計画に代わる新たなまちづくりの基本的な指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の国際施策に関する部門別計画であり、これまで国際化施策の基本的な指針としてきた「札幌市国際化推進プラン」を抜本的に改訂したものです。



### ■計画期間

本プランは、平成 25 年度(2013 年度)から平成 34 年度(2022 年度)までの 10 年間を計画期間とします。ただし、計画期間を超える課題についても、長期的視点に立ち、対象に含んでいます。

なお、具体的な施策については、実施計画を 1 期と 2 期に分け、まずは平成 25 年度(2013 年度)から平成 29 年度(2017 年度)の 5 年間を計画期間とする実施計画(1 期)(本プラン第 7 章)を策定し、5 年経過後、時代の変化を踏まえた見直しを行っていきます。

ただし、国際情勢や社会情勢の変化などにより、取組内容を見直す必要が生じた場合は、計画期間中であっても柔軟に見直しすることとします。

<sup>1</sup>人口減少社会 人口が継続して減少する社会のこと。

## 第2章 札幌市をとりまく社会・国際情勢

### 1 人口減少・超高齢社会の到来

札幌市の人口は、平成 27 年(2015 年)前後の 193 万人をピークに減少に転じる見込みであり、これまで緩やかに増加を続けてきた札幌市の人口が減少局面を迎える中、海外からの集客交流人口<sup>2</sup>の増加や新たな市場の開拓、誰もが能力を発揮できる創造的な社会の実現など、経済や地域の活性化に向けた取組が必要になっています。

### 2 グローバル化の進展

#### ■アジアの成長

中国やロシア、インドのほか、東南アジア諸国連合(ASEAN)<sup>3</sup>などは、人口増加率、経済成長率ともに高い水準で推移しており、将来的な市場としての成長が見込まれています。

アジアの国々を始めとする新興国<sup>4</sup>の市場の成長をいかに取り込んでいくかが日本の経済活性化の重要な鍵となっています。

#### ■貿易の自由化／情報通信技術／国際航空ネットワークの進化

経済のグローバル化の動きの中で、貿易や投資を自由化する枠組の整備が世界的に進められています。

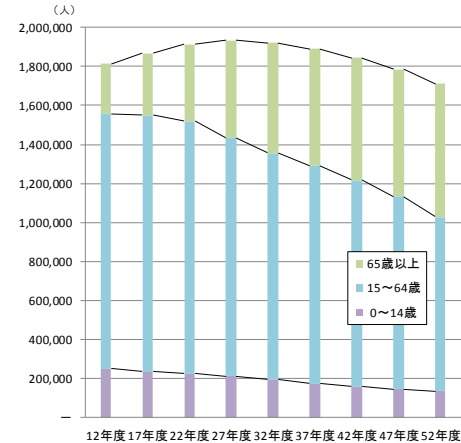
また、情報通信技術の分野では、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)<sup>5</sup>が普及するなど、海外とのコミュニケーションのコストが低下し、利便性が飛躍的に向上しています。

情報通信技術や国際航空ネットワークの進化は、人、物、資金、情報の移動を高速かつ容易にしており、経済を始め、様々な活動のグローバル化に大きく寄与しています。

#### ■地域間競争の激化

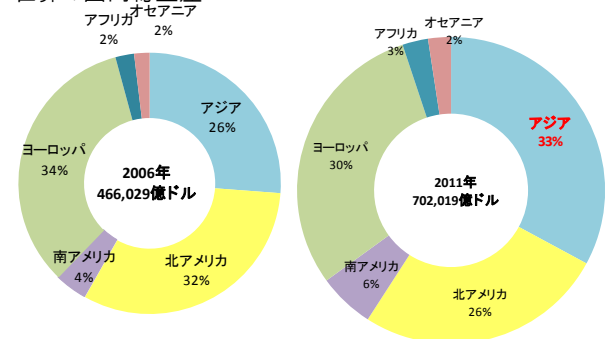
人、物、資金、情報が国境を越えて移動するグローバル化を背景に、観光、留学、投資・企業立地などの「目的地」として選ばれるための地域間競争は激しさを増しています。

人口の将来見通し



出典：札幌市、国立社会保障・人口問題研究所  
※平成 27 年度以降は推計値

世界の国内総生産



出典：総務省統計局「世界の統計」

札幌市の外国人実宿泊者数



出典：札幌市

<sup>2</sup>集客交流人口 いわゆる「定住人口」に対する概念で、訪問者は一種の人口と考えることができる。日本の各地で人口減少の時代を迎えつつある中、地域を訪れる人を人口と捉えて地域の活力を高めていくという文脈で使われる。

<sup>3</sup>東南アジア諸国連合(ASEAN/Association of Southeast Asian Nations) 1967 年インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの 5 カ国が参加し、経済成長、社会・文化的発展の促進等を目的に設立。2013 年時点で加盟国は 10 カ国。将来的に「政治・安全保障」「経済」「社会・文化」を内容とする ASEAN 共同体設立を目指している。

<sup>4</sup>新興国 政治、経済などの面で急速に成長を遂げている国のこと。

<sup>5</sup>ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS) 交友関係や社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの一つ。既存のユーザーからの招待で参加できる会員制のもの、誰でも自由に参加できるものがある。代表的な SNS として、世界最大の利用者を抱える Facebook、日本最大の利用者を抱える mixi などがある。

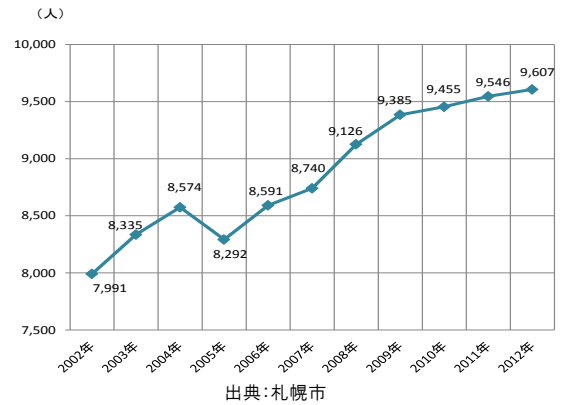
### 3 多文化共生の推進

日本に居住する外国人住民は、平成 23 年(2011 年)末現在、約 207 万人で、日本への定住化が進んでいます。

札幌においても、外国籍市民の人口は増加傾向にあり、平成 24 年(2012 年)3 月末現在、9,607 人で、平成 14 年(2002 年)と比較すると、約 20%増加しています。

異なる文化的背景を持つ人々を含めた市民誰もが、共にまちづくりに参加し、助け合える多文化共生社会<sup>6</sup>の実現に向けた取組の必要性がより一層高まっています。

札幌市の外国人住民登録数の推移



### 4 持続可能な開発

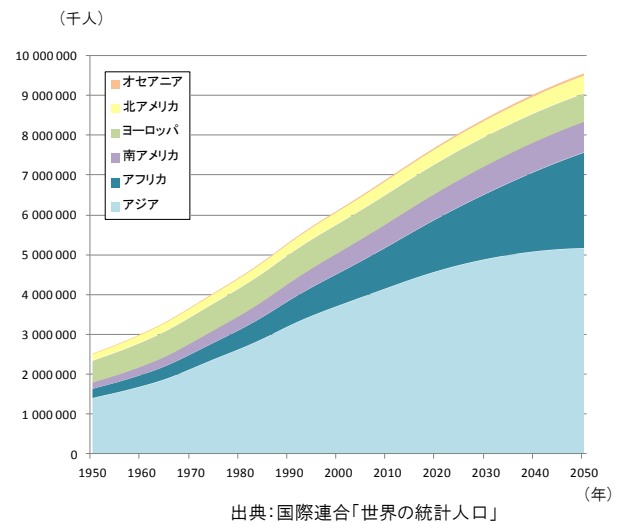
#### ■地球的課題への取組

国連の推計によると、平成 23 年(2011 年)に 70 億人に達した世界の人口は、平成 62 年(2050 年)には 95 億人を超えると予想されています。人口増加やそれに伴う貧困の拡大、エネルギー需要の高まりなど、世界は地球規模の多様な課題に直面しています。

世界の相互依存が深まる中、環境保全<sup>7</sup>、人権や平和等の社会的課題や貧困等の経済的課題を「地球的課題」として、グローバルな視野を持って取り組んでいくことが必要です。

持続可能な開発のためには、札幌も世界の都市の一員としての責任と役割を果たし、世界との共生を目指していくことが求められています。

世界の人口



#### ■東日本大震災後の社会

平成 23 年(2011 年)に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、札幌にも多くの被災者が避難しました。震災による被害は海外にも伝えられ、日本は、160 を超える国・地域、40 を超える国際機関から救助チームの派遣や物資の提供等を受けるとともに、民間団体や個人からも寄付金など多くの支援が寄せられました。このような支援を受けることができた背景には、これまでの国際交流や国際協力の積み重ねがあったためと言えます。

また、福島第一原子力発電所の事故を通じて、環境・エネルギー問題への関心が高まり、再生可能エネルギー<sup>8</sup>の普及や省エネルギー<sup>9</sup>への取組が求められています。環境やエネルギーは世界共通の課題であり、ヨーロッパなどの環境問題の解決に積極的な海外諸都市と知恵を出し合いながら、取り組んでいくことが必要とされています。

<sup>6</sup>多文化共生社会 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく社会。

<sup>7</sup>環境保全 環境破壊を防止し、自然保護を図ること。

<sup>8</sup>再生可能エネルギー 太陽光、地熱、風力など、一度使用しても再び同じ形態で利用することのできるエネルギーの総称。

<sup>9</sup>省エネルギー エネルギーを効率的に使用し、エネルギーの消費を減らすこと。

## 第3章 札幌が目指す国際都市像

### 1 「札幌市まちづくり戦略ビジョン」が目指す都市像

本プランの上位計画である「まちづくり戦略ビジョン」では、市民・企業・地域・行政などが、それぞれの立場でまちづくりへの役割を果たし、都市の活力と生活の質を高め、次世代にまちを引き継いでいく視点から、二つの目指すべき都市像を掲げています。

#### <まちづくり戦略ビジョン都市像>

##### 『北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち』

札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内および世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。

##### 『互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち』

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現します。

また、札幌市では、都市戦略モデルである「創造都市」の考え方を取り入れ、文化芸術の多様な表現に代表される創造性を生かして、地域の活性化などのまちづくりを推進していくこととしています。そのため、札幌市の既存の魅力資源を活用して多くの人を呼び込むとともに、多様な交流により生まれる新たな創造性を育む環境整備を進めています。

本プランにおいては、「まちづくり戦略ビジョン」の二つの都市像と、「創造都市さっぽろ」の実現に向けた国際施策の展開を目指します。

### 2 国際施策の方向性

人口減少・超高齢社会の進行や産業構造の変化など、初めて直面する様々な課題を克服していくために、札幌もこれまでと違った新しい価値を生み出せるような、抜本的な変化を遂げていかなければなりません。そのため、国際施策の展開においても、イノベーションの誘発を促進するよう海外から活力を取り込み、地域活性化につなげていく視点が求められています。札幌の魅力発信し、国内はもとより海外からも多くの人々が札幌に引き寄せられ、そこから新しい価値が生まれていく、という創造性の基盤構築、また、それを核としてさらなるイノベーションが起こる創造の連鎖へと発展させていきます。

### 3 札幌の魅力発信

年間6メートルもの降雪がある札幌は、世界の中でも、特色ある大都市です。四季に彩られる豊かな自然と隣り合わせでありながら、都市としての快適さや利便性がある「札幌の自然と都市が共存するライフスタイル<sup>10)</sup>」は、世界に発信していくべき魅力資源です。

また、札幌は、自然の恵みと共に暮らしてきた人たちと、日本各地から移住してきた人々が、それぞれの文化を育みながら、外国の英知も取り入れて発展してきました。札幌の文化には、市民の多様性<sup>11)</sup>を背景に、しがらみのない生活様式や新しいものを気軽に受け入れるオープンな気質が現在に引き継がれていると言われ

<sup>10)</sup>ライフスタイル 人々の生活様式、行動様式、思考様式のこと。また、本人の人生観や価値観を反映した個人の生き方のこと。

<sup>11)</sup>多様性 幅広く性質の異なるものが存在すること。本プラン内では特に民族、地域及びコミュニティが独自の歴史的背景を持った様々な文化を有すること、或いはそのように様々な文化が存在する状態を意味する「文化多様性」のことを指す。



ています。

このような「自然と都市が共存するライフスタイル」と「多様な文化を受容するオープンな気質」という他地域とは異なる魅力を、札幌の強み・札幌市民のアイデンティティ<sup>12</sup>として改めて認識し、市民、企業、行政などが、それぞれの立場で、様々な接点を活用して効果的に世界へ発信し、札幌への憧れを醸成していくことが、今後の海外からの活力の取り込みにつながっていくと考えます。

#### 4 海外活力の取り込み

強みともいえる札幌・北海道の認知度の高さを生かし、海外からの観光客や MICE<sup>13</sup>の誘致といった集客交流を拡大する取組はもとより、国内市場の縮小を背景に海外展開の必要性が高まりつつある道内企業の支援や、多様な人材の活用促進などにより、まちの国際競争力を高め、海外需要の獲得につなげていくことが必要です。

また、そのためには、様々な国籍や文化の人々誰もが能力を発揮して活躍できる社会の実現や、海外諸都市との多様な交流が不可欠であり、これらは国際都市の基盤といえます。札幌の情報発信と国際都市の基盤強化を進めていくことによって、海外活力の取り込みが促進されることにより、まちの多様性や創造性が高まり、地域が活性化していくことにつながっていくと考えられます。

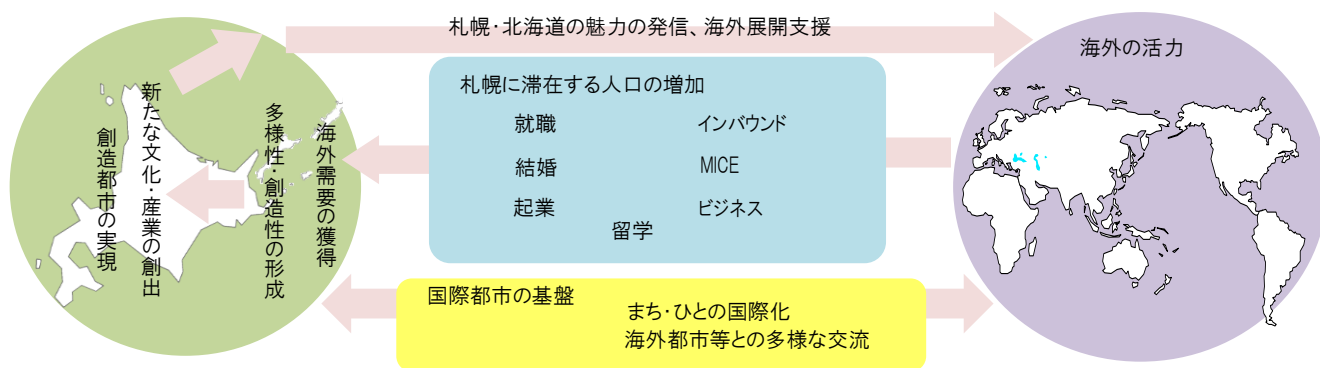
#### 5 目指す国際都市像

### 創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ

そこで、本プランでは、10年後の札幌の国際都市像として、創造性に満ち、活力にあふれる誰もが住みたくするような都市を目指していきます。札幌の歴史に根差す「多様な文化を受容するオープンな気質」を生かし、海外との様々な交流から創造性を生み出す国際都市の実現に取り組みます。

国際都市としてまちが活性化されると、札幌の魅力がさらに向上して、新たな札幌のライフスタイルが人々を引き付ける、という好循環が期待されます。将来的には、札幌の魅力に引き付けられた多くの人々が国内外から集まり、異なる視点を持つ人々が影響し合ってイノベーションを誘発し、新たな文化・産業を創出するまちとなることを理想とします。

#### 「創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市」の実現



<sup>12</sup>アイデンティティ ある人・物が他の人・物と異なってもっている独自性。同一性。

<sup>13</sup>MICE 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、Meeting(会議・セミナー)、Incentive Tour(企業報酬・研修旅行)、Convention(大会・学会・国際会議)、Exhibition(イベント・展示会・見本市)の頭文字を取った造語。

## 第4章 基本方針

### 1 3つの基本方針

国際都市像「創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市」を目指していくためには、札幌の魅力発信と海外活力の取り込みにつながる国際施策を展開していかなければなりません。また、多様性を受け入れるまち・ひとの国際化を進め、海外都市との多様な交流による国際都市の基盤を築いていくことが必要です。そのため、次の3つの基本方針を設定し、国際都市像の実現に向けて取り組んでいきます。

### 創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さつぽろ

#### 基本方針Ⅰ 国際競争力の獲得～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み

経済のグローバル化の潮流をチャンスと捉え、札幌の魅力資源を活用して海外の成長を取り込む競争力を獲得し、札幌・北海道の活力を向上することを目指します。

#### 基本方針Ⅱ 多文化共生社会の実現～多様性と創造性の創出

誰もが住みたくなる国際都市の実現に向け、豊かにつながる多文化共生社会の実現により、まちの多様性を高め、創造性あふれるまちを目指します。

#### 基本方針Ⅲ 海外ネットワークの活用～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築

札幌と海外とのネットワークの在り方を検討し、互恵的な協力関係を築き、その活用を通じて将来の多様な交流につなげていくことを目指します。

### 2 取組の方向性

#### ■基本方針Ⅰ 国際競争力の獲得～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み

##### (取組の方向性1) 魅力発信と海外シティプロモート<sup>13</sup>の強化

- ★ターゲットであるアジアで特徴的な冬の生活や、豊かな食、文化芸術・スポーツによる創造的な活動などの魅力を生かし、自然と都市が共生するライフスタイルを都市ブランドとして高めていきます。
- ★インターネットやソーシャルメディア<sup>14</sup>の活用など、多様な方法での情報発信を進め、外国語の札幌情報の質と量を向上するほか、海外シティプロモートを強化します。
- ★文化芸術や路面電車の延伸などを生かした創造的で個性的な空間づくりを進め、国際的な都市機能の向上を目指します。特に、都心においては、高次元な都市機能の集積や魅力ある都市空間の創出など、札幌を世界にアピールするまちづくりを進めます。

##### (取組の方向性2) 国際観光・MICE誘致受入強化

- ★東南アジアなどの有望市場や新興市場をターゲットとして、地域別のマーケティング<sup>15</sup>に基づく誘致活動や、市内外の様々な観光資源の活用・創出を行い、海外からの観光客やリーダーを増やす取組を進めます。
- ★MICE向けコンテンツの開発や誘致推進体制の充実による札幌の強みを生かしたMICE誘致・受入を推進します。
- ★食文化の違いや多言語の観光案内など、受入体制の充実やインフラ整備を進め、外国人観光客にも移動がしやすい環境づくりを行います。

<sup>13</sup>シティプロモート まちの魅力を再発見し、創造することで新しい都市の輝きをつくり出すとともに、市民が誇りを持ってその魅力を内外に発信することで、世界の人々と多様な関係をつくり出すための一連の活動。

<sup>14</sup>ソーシャルメディア インターネットの普及によって個人・組織による情報発信が容易となったことで生じたツイッター、フェイスブックなどに代表される新たなメディア。

<sup>15</sup>マーケティング 市場戦略。販売販路拡大を目的として、市場に対して戦略的に取り組むこと。



(取組の方向性3) **地理的特性や札幌・北海道の強みを生かした海外展開支援**

- ★札幌・北海道の強みである食や寒冷地技術<sup>16</sup>などを生かして国際競争力を高め、札幌からアジアや寒冷地への海外展開を図り、外需獲得を目指します。
- ★海外進出意欲のある企業の支援を進めるほか、特区制度の活用を始めとする戦略的な産業振興を行っていきます。
- ★札幌市が有する卸機能の特性を生かすとともに、道内の関係機関とのネットワークを一層強化し、商流・物流の活性化を図ります。

(取組の方向性4) ⇒ **グローバル人材の誘致・活用促進**

- ★留学生を始めとするグローバル人材を誘致し、道内での就職を支援するほか、国際的な視野を持つ日本人などのグローバル人材の活用を促進します。
- ★外国企業の誘致を進め、グローバル人材の活躍する場を創出します。

＜まちの将来像＞

- ・札幌の魅力が世界中に広まり、アジアなどの経済成長の著しい地域を始めとして、海外からの観光客やビジネス客が札幌を訪れ、多くの外貨を獲得しています。
- ・札幌・北海道の強みを生かして、食品や寒冷地技術・製品を持つ企業がアジアや寒冷地への輸出・海外展開を拡大する一方、市内や近隣市町村へ外国企業が進出し、新たな雇用や地場企業への様々な波及効果が生まれています。
- ・企業では、グローバル化に対応した国際的な視野を持った人材が活躍しています。

■基本方針Ⅱ 多文化共生社会の実現～多様性と創造性の創出

(取組の方向性1) **国際感覚豊かな人材の育成・活用**

- ★札幌市民が世界の国々の状況や平和・人権などの地球規模の問題について考え、異文化理解を深める機会を充実し、国際感覚豊かな人材の育成を行います。
- ★青少年に対しては、各年齢層を対象とする国際交流プログラムや大学間提携の促進などを行うほか、国際理解教育や英語力の育成を重視した教育の推進など、将来の札幌を支え国際社会で活躍する自立した札幌人を育成します。
- ★外国籍市民や海外経験を持つ人材をまちづくりに活用し、多様な国際理解の機会を提供します。

(取組の方向性2) **地域での交流と共生の促進**

- ★地域での交流イベントや異文化に触れる機会を増やし、外国籍市民と日本人市民が顔の見える関係を構築して、助け合い、協力する地域づくりを進めます。
- ★まちづくりに外国籍市民の視点を取り入れることを促進し、新たな考え方や刺激を加えて、社会の創造性の向上につなげます。

(取組の方向性3) **コミュニケーション・生活支援の充実**

- ★言語の違いによる情報の不足を解消するため、多言語での情報提供や、日本語教育活動の支援など、コミュニケーションについての支援を行います。
- ★防災や教育、医療など、外国籍市民ならではの課題や制度の違いに起因する問題に対する支援の取組を進めます。
- ★札幌国際プラザがコーディネーター<sup>17</sup>となって、ボランティアなどの市民やNPO団体<sup>18</sup>など市民活動団体とのネットワークを構築し、多文化共生社会の実現に向けた効果的な連携を進めます。

<sup>16</sup>寒冷地技術 寒冷地向けの土地開発技術や建築、除雪、都市設計技術などのこと。

<sup>17</sup>コーディネーター ものごとを調整する役の人。

<sup>18</sup>NPO(特定非営利活動法人)ノンプロフィット・オーガナイゼーション(Non-Profit Organization)の略。民間の非営利組織のことをいう広い概念。一般的には、継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

### <まちの将来像>

- ・子どもたちが多様な文化に触れ、世界の国や地域、地球全体の課題について学ぶことにより、国際的な視野を持って札幌の将来を支える人材が育成されています。
- ・多様な文化的背景を持つ人々が、快適に札幌で暮らせるよう、言語や生活上の支援が行き渡っています。
- ・外国籍市民と日本人市民が地域の一員として交流し、災害時などに互いに助け合える豊かにつながるコミュニティが形成されています。
- ・様々な国籍や民族の人々が能力を発揮し、まちづくりやビジネスなど多方面で創造的に活躍しています。

### ■基本方針Ⅲ 海外ネットワークの活用～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築

#### (取組の方向性1) 世界冬の都市市長会の積極活用

- ★寒冷地技術を始めとする札幌の技術やノウハウを基礎として、行政・経済関係者・研究者間の相互交流や協力を進め、冬の都市のハブ<sup>19</sup>としての地位確立を目指します。
- ★市民やまちづくりにメリットのあるネットワークとして、海外の先進的な施策の調査や、将来を見据えたネットワークの拡充を図ります。

#### (取組の方向性2) 将来を見据えた新たな海外ネットワークの構築

- ★将来的に経済発展が見込まれるアジアやモンゴルなどの寒冷地へ国際協力を行うほか、都市間協定を通じて、観光分野で往来を活発化するなど、互恵的な信頼関係の構築を進めます。
- ★都市の価値と魅力を高めるため、ユネスコ創造都市ネットワーク<sup>20</sup>加盟都市や、特徴的なまちづくりを行っている都市との相互交流と連携を促進し、新たな協力関係を構築していきます。

#### (取組の方向性3) 信頼を基礎とした互恵的関係の構築

- ★姉妹・友好都市交流では、青少年の異文化理解の入口として活用を図るほか、職員派遣などを通じた施策の学び合いを進め、培ってきた信頼を基礎とした互恵的な関係構築を進めます。
- ★札幌にゆかりのある外国人や、海外経験のある札幌出身者などとネットワークを構築して、情報の収集や発信を積極的に進めていきます。
- ★環境・エネルギー問題に積極的に取り組んでいくため、環境分野に関する海外の先進的な事例を調査し、施策への活用を図ります。

### <まちの将来像>

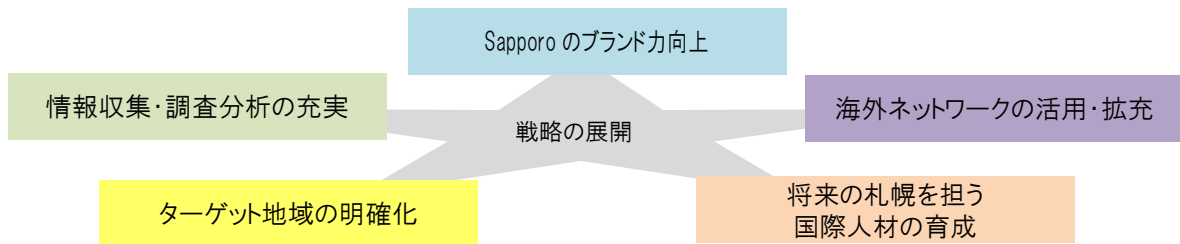
- ・札幌・北海道の地理的な特性などを踏まえた海外との様々な都市間交流や互恵的な国際協力が、新たなビジネスへの懸け橋になっています。
- ・海外の先進的な取組から学び、環境産業や再生可能エネルギーを生かした環境負荷の少ない生活や、創造的な暮らしを実現しています。
- ・環境保全などの地球規模の課題に対して、海外の都市と共に考え、互いの取組を学び合うことにより、札幌が世界の都市の一員として責任と役割を果たしています。

<sup>19</sup>ハブ 交通やネットワークの結節点のこと。

<sup>20</sup>ユネスコ創造都市ネットワーク 創造的・文化的な産業の育成・強化によって都市の活性化を目指す世界の各都市が、国際的な連携・相互交流を行うことを支援する枠組で、文化の多様性の保護を重視するユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が平成16年に創設。

## 第5章 戦略展開の基本的考え方

5つのポイントを「戦略展開の基本的考え方」として定めます。



### 1 Sapporo のブランド力向上

札幌の様々な魅力資源を組み合わせ、戦略的な海外シティプロモートや国際協力などを展開することにより、海外での札幌のブランド力向上を目指します。

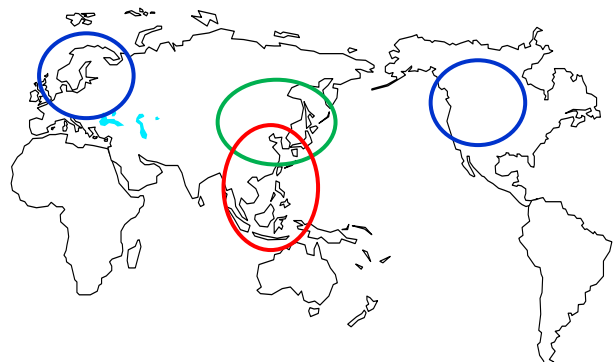
### 2 情報収集・調査分析の充実

国際戦略の展開において、札幌の国際競争力を計るデータや、海外についての情報収集・調査分析を充実させるとともに、海外マーケティングを強化し、戦略的な事業の企画と実施を進めます。

### 3 ターゲット地域の明確化

施策を効果的に推進するため、それぞれの分野に適したターゲット地域を設定し、地域ごとの特色、また、これまでの世界各都市との交流の蓄積を生かした取組を進める必要があります。

- 経済活動の市場  
～ 東南アジア・東アジア
- 地理的特性を生かした交流・連携  
～ 寒冷地(中国、ロシア、モンゴル)
- 環境、市民参加、文化芸術など先進的なまちづくり  
～ ヨーロッパ、アメリカ



### 4 海外都市ネットワークの活用・拡充

世界との相互依存が深まっている現代において、地方自治体でも、経済面での関係強化や、政策課題解決に向けた海外都市ネットワークの活用が期待されています。

- 姉妹友好都市交流、世界冬の都市市長会など既存のネットワークの活用
- 新たなネットワークの活用

### 5 将来の札幌を担う国際人材の育成

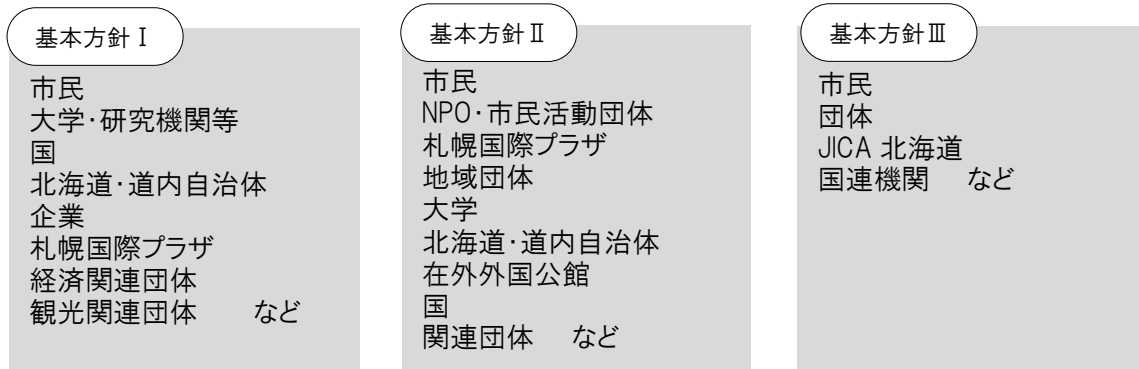
将来の札幌・北海道を担う青少年が、平和や人権、環境問題などの地球的課題について知識や関心を蓄え、異文化や多様性に対する理解と尊重の気持ちを育むことができるよう、それぞれの年齢層に合わせた効果的な国際交流プログラムや国際理解教育を推進していきます。

## 第6章 推進にあたって

### 1 多様な連携の推進

これまで、札幌市の国際交流は、多くの市民による草の根交流によって支えられてきました。本プランにおいても、全ての分野で、市民を中心とした様々な主体の役割と連携が非常に重要になります。

本プランにおいては、国際戦略に関わる様々な連携を強化し、それぞれの得意分野と活動の特色を生かして効果的かつ創造的な取組を進めます。

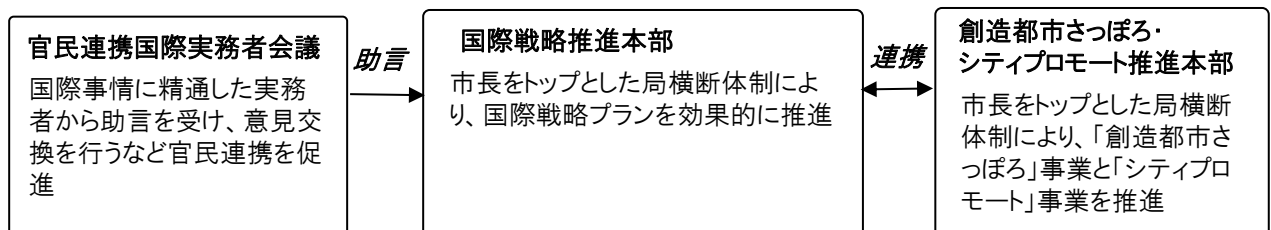


### 2 札幌市の推進体制

ブランド力の向上やそれに向けた海外シティプロモートなどの効果的な実施のため、庁内部局間の緊密な連携を図っていくほか、国際情勢の変化に応じて、体制を柔軟に検討し、整備していきます。

#### ■札幌市国際戦略推進本部の設置～国際戦略プランの推進

#### ■官民連携国際実務者会議の設置



#### ■国際感覚豊かな職員の育成

グローバルな視野を持って課題解決を行う職員を育成し、海外との折衝やプロモーション活動に対応する能力を身に付けるとともに、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。

### 3 札幌国際プラザの役割

札幌国際プラザは、国際都市さっぽろの実現を目指し、札幌の地域的特性を生かした多様な交流の振興を図ることにより、これまで、国際交流やコンベンションの振興を行ってきました。

現在、これまで以上に多様な主体が連携して国際化を進めていく必要性が高まっている中、札幌国際プラザが蓄積してきたノウハウを最大限活用し、より市民のニーズに合ったサービスを提供するとともに、市民、NPO 等市民団体、自治体等をつなぎ、国際交流の裾野を広げるコーディネーターとしての役割を果たすことが求められています。

#### ■多文化共生の推進

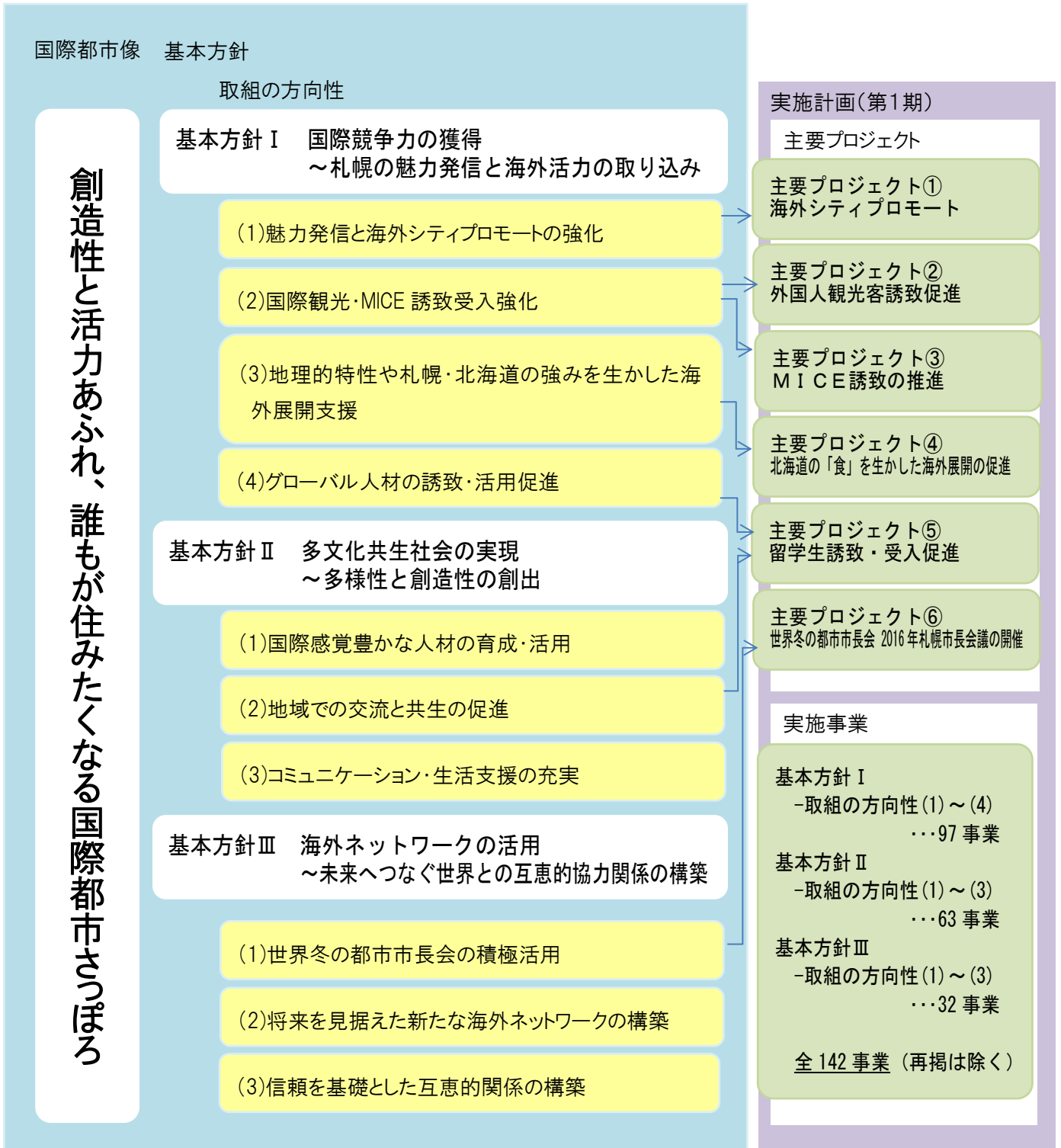
#### ■MICE 誘致の強化

#### ■市民活動のコーディネートと国際的な人材育成

# 第7章 実施計画

## 1 概要と構成

本実施計画では、平成 25 年度(2013 年度)から平成 29 年度(2017 年度)の5年間に実施する具体的な施策と目標を定めます。また、取組内容を見直す必要が生じた場合は、計画期間中であっても見直すこととします。



## 2 主要プロジェクト

実施計画 1 期の施策のうち、重点的に取り組む事業を主要プロジェクトとして位置付け、各プロジェクトにつき 5 年間の施策の実施期間内に到達すべき目標を、次のとおり定め、達成に向けて事業を実施します。

### ■主要プロジェクト

#### ① 海外シティプロモート

〈取組の概要〉東南アジアでの札幌への訪問意欲・商品購買意欲向上のため、さまざまな魅力資源を組み合わせた海外シティプロモートを実施し、認知度向上と親近感の醸成を図る。

〈目標値〉ターゲット市場の札幌の認知度 平成 24 年度 25%⇒平成 29 年度 60%

#### ② 外国人観光客誘致促進

〈取組の概要〉各国・地域別のニーズを明確にしたうえで、効果的な誘致活動を行い、送客元の多様化を図る。

〈目標値〉外国人宿泊者数 平成 24 年度 68 万人⇒平成 29 年度 115 万人

うち東南アジアからの宿泊者数 平成 24 年度 8 万人⇒平成 29 年度 20 万人

#### ③ MICE 誘致の推進

〈取組の概要〉マーケティング戦略の構築のほか、競合都市との差別化を図るため、MICE におけるソフトとハードの機能向上及び誘致体制の強化を図る。

〈目標値〉国際会議の開催件数 平成 24 年度 60 件⇒平成 29 年度 100 件

インセンティブツアーの誘致・支援件数 平成 24 年度 18 件⇒平成 29 年度 50 件

#### ④ 北海道の「食」を生かした海外展開の促進

〈取組の概要〉道産有望商材のブランド化や、外食産業の海外展開を支援し、外国人観光客増加や海外での道産食品の消費拡大を図る。

〈目標値〉札幌を含めた広域経済圏の輸出額 平成 23 年度 1,838 億円⇒平成 29 年度 1,920 億円

グローバル化の取組を行っている企業の割合 平成 24 年度 8.7%⇒平成 29 年度 30%

#### ⑤ 留学生誘致・受入促進

〈取組の概要〉誘致から受入環境整備、就職支援までの一貫した支援を進める。

〈目標値〉海外からの留学生数 平成 24 年度 1,839 人⇒平成 29 年度 2,700 人

うち東南アジアからの留学生数 平成 24 年度 144 人⇒平成 29 年度 230 人

#### ⑥ 世界冬の都市市長会 2016 年札幌市長会議の開催

〈取組の概要〉34 年ぶりに札幌で市長会議を開催する。また、夏季開催を検討し、新たな市長会活動を展開する。

〈目標値〉世界冬の都市市長会議の認知度 平成 22 年度 12.7%⇒平成 29 年度 25%

### ■札幌らしい国際的なイベントなどを通じた魅力発信

札幌らしさを生かした国際的なイベントを最大限に活用し、世界への魅力発信を進め、ブランド力向上につなげていきます。

★札幌国際芸術祭    ★創造都市ネットワーク加盟    ★2017 冬季アジア札幌大会





差出有効期間  
平成 26 年 1 月  
31 日まで  
(切手不要)

0 6 0 - 8 7 8 8

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

札幌市総務局国際部交流課 行

やま折り②

【ご意見の提出方法】

～ 裏面の記入欄にお書きください ～

郵送で提出する

折り線のとおり折り、のり付け後、ポストに入れてください（切手を貼る必要はありません）。

FAXで提出する

ご意見を記入した面を「218-5168」に送信してください。

Eメールで提出する

下記 URL にアクセスし、意見募集のページから送信フォームに必要事項を記入し、送信してください。

ホームページから提出する

ご意見を kokusai@city.sapporo.jp 宛に送信してください。

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kokusai/strategy.html>

直接持参する

札幌市総務局国際部交流課（市役所本庁舎 9 階）に直接お持ちください（平日 8 時 45 分～17 時 15 分）。

【提出先・お問い合わせ先】

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

札幌市総務局国際部交流課（9 階）

電話 : 011-211-2032 FAX : 011-218-5168

E-mail : kokusai@city.sapporo.jp

のりしろ

やま折り①

のりしろ

# 札幌市国際戦略 プラン(案)

へのご意見を募集します！

ご意見募集期間

平成 26 年 1 月 20 日(月)まで

※必着です！

# ご意見記入用紙

## 札幌市国際戦略プラン（案）

あて先 : 札幌市総務局国際部交流課 FAX 011-218-5168

お名前 : 年齢 : 歳

ご住所 :

ご協力ありがとうございました。

※ いただいたご意見については、同じ趣旨のご意見をとりまとめて公表する予定です（個別の回答はいたしませんので、ご了解ください）。

※ お名前、ご住所等は公表いたしません。札幌市個人情報保護条例の規定に従い、適切に取り扱います。